

Solvay 社の OEB (Occupational Exposure Banding) について

Solvay はベルギーに本社を置く化学企業で、日本国内にもソルベイジャパン株式会社など複数のソルベigroup企業があります。従業員 9 千人以上の大企業で、年間 100 トン以上の化学物質を製造／輸入しています。

Solvay-OEB は、Solvay 社内で運用している職業曝露バンディングであり、選ばれた 229 物質の職業ばく露限界値との相関により、その妥当性が確認されています（文献 1, 2）。

本学のツール内で「Solvay 社の OEB を使用する」にチェックを入れた場合には、GHS 分類のハザードレベルへの割付と、そのハザードレベルの目標管理濃度範囲への割付を、Solvay-OEB で使用されている割付に変更します。前者の割付は上部メニューの「CRA 環境設定」で確認でき、後者の割付は「結果の詳細」にある「最大ハザードレベルから管理目標濃度範囲を設定」の表から確認できます。

Solvay 社 OEB の特徴として、粉体での GHS 分類によるハザードレベルが、Solvay 社の OEB を使用しない場合の目標管理濃度範囲よりも一桁大きい範囲に割り付けられるため、職業ばく露濃度が設定されていない固体物質を使った作業のリスク評価により得られるリスクレベルが、OEB を使用しない場合よりも 1 段階小さくなります。

文献

1. Theo Scheffers, Blandine Doornaert, Nathalie Berne, Gerard van Breukelen, Antoine Leplay, Erik van Miert, On the Strength and Validity of Hazard Banding, The Annals of Occupational Hygiene, Volume 60, Issue 9, 14 November 2016, Pages 1049–1061, <https://doi.org/10.1093/annhyg/mew050>
2. https://www.tsac.nl/publicaties/Vanmiert_Scheffers.OEB_presentation.160413.session_A.versie_160413.pdf